



科学技術週間施設公開

～つくばセンター・中部センター～

科学技術週間は、科学技術に関し、広く国民の関心と理解を深め、科学技術の振興を図ることを目的としています。今年は4月15日～21日に全国各地で科学技術に関する様々な行事が催されました。産総研からは、つくばセンターと中部センターが施設の公開や特別展、講演会等を行いました。

●つくばセンター

地質標本館では、特別展示「切手の鉱物 - 世界の鉱物切手コレクションから -」を企画し、地質標本館所蔵の宝石・鉱石を含む鉱物コレクションと秋田大学附属鉱業博物館から借用した鉱物に関する切手コレクションを展示しています。この展示を通して、世界で発行された多くの美しい鉱物や宝石をデザインした切手と、実際の鉱物標本の色や形を同時に楽

しむことが出来ます。この催しは6月16日（日）まで開催しています。

また、4月18日（木）には、「鉱物の世界」をテーマに講演会を行い、地質標本館 豊 遙秋館長から様々なエピソードを交え「鉱物の名前とその由来」、地圏資源環境研究部門 青木正博総括研究員から日本・世界各地の「温泉から生まれる鉱物」についての講演がありました。



くらしとJISセンターでは、4月16日～19日にJISパビリオンの特別展を行い、4月18日（木）にはJISセンター内の3つの研究室を特別公開しました。

JISパビリオンは、標準化の意義や概要、標準基盤研究の趣旨や内容を一般の方にわかりやすく理解してもらうために、見て、聴いて、触れて、体験してもらう常設展示場です。くらしの中の身近なJISをパネルと展

示品で説明し、日常生活に標準化がどのように役立っているか、体験を通して感じることができます。

また、製品評価技術基盤機構（NITE）と産総研とが共同研究している「人工関節などの生体材料研究」「不快な音の聴覚特性研究」「もの見え方の有効視野研究」の各研究室を特別公開し、くらしとJISセンターの標準化研究を紹介しました。



●中部センター

中部センターでは4月18日（木）、志段味ヒューマンサイエンスパークにある9研究機関の参加を得て、中部センターと名古屋市先端技術連携リサーチセンターの2会場を一般公開しました。

中部センター会場では、セラミックス研究部門、基礎素材研究部門およびつくばセンターで行っている研究を紹介するパネル展示コーナーや技術相談コーナーを設け、サイエンスツアーと題した研究施設見学会を

行いました。また、「中部のものづくり技術の新たな展開を目指して」をテーマとした講演会を開催し、「産総研の目指す“ものづくり”技術支援」（榎本祐嗣理事・中部センター所長）、「ものづくり産業クラスターの形成」（中部経済産業局 板谷憲次産業企画部長）、「小さな部品の成形」（株式会社樹研工業 松浦元男代表取締役社長）の3件の講演が行われました。

隣接する名古屋市先端技術連携リ

サーチセンター会場では、シナジーマテリアル研究センターおよび参加9機関を紹介する展示コーナーが設けられました。





国際計量標準シンポジウム 2002

4月12日(金)、東京ビックサイトにおいて国際計量標準シンポジウム2002がINTERMEASURE 2002と併催で開催されました。

参加者約240名を集めたシンポジウムでは、経済産業省産業技術環境局 小谷泰久知的基盤課長から「計量標準の最近の動向」と題し、国際市場における技術的評価の信頼性向上および産業競争力の基盤として不可欠な計量標準の役割についての講演

がありました。続いて我が国をはじめ欧米や中国などの第一線の専門家6名から計量標準をめぐる制度、標準の整備状況、運用の現状および今後の展望などについて講演がありました。

また、前日の午前には、法定計量セミナー「みんなの法定計量」のテーマで、身近な生活から国際的な連携まで最新の法定計量の動向について、午後からは、物理標準セ

ミナー「物理標準整備の現状と将来」のテーマで、標準設備の動向について紹介を行いました。



第3回産総研・技術情報セミナー

3月27日(水)、つくばセンターにおいて第3回産総研・技術情報セミナーが開催されました。今回は、我が国産業技術の国際競争力比較や強化方策、新産業創出および海外展開に向けた科学技術の役割、公的研究機関への期待、産業技術政策の動向等について2件の講演が行われました。

長岡技術科学大学 三上喜貴教授は「アジアの科学技術人材と日本」と

題して、日本およびアジア各国の科学技術活動の実態の紹介のあと、我が国がアジア太平洋地域における人材のネットワーク構築のイニシアティブを取っていくことの重要性について述べられました。

次いで、北陸先端科学技術大学院大学 亀岡秋男教授が「日本の産業技術競争力の国際比較と次世代イノベーションの創出」と題して、最近強く叫ばれている我が国の産業技術

競争力の強化について、米欧の国際競争力の動向と我が国産業技術の国際評価等のデータに基づき、産業技術競争力と技術経営面(MOT)の課題、次世代イノベーションモデルの予測と今後のR&Dマネジメントの方策や技術経営の方向性、人文・社会科学の視点も盛り込んだ戦略開発システムの構築等の重要性について講演されました。



JISパビリオンリニューアル

平成7年に開設したJISパビリオンが、7年ぶりに全面改装され、この4月から公開されています。

今回の改装は、視覚障害者誘導用ブロック等新しく制定されたJISなど最近の標準化動向を反映し、体験コーナーをできるだけ多く取り入れ、くらしの中のJISをパネルと展示品でわかりやすく紹介しています。

JISパビリオンは、

- ①館内の案内、趣旨を説明したアプローチゾーン
- ②産総研の研究を紹介するAIST

ゾーン

- ③標準化概要、JISマーク品展示、標準基盤研究を紹介する標準化ゾーン
- ④キッチン、トイレ、リビング、段差を体験するくらしと体験ゾーン
- ⑤年齢と共に変化する聴覚を体験する聴覚体験ゾーン
- ⑥年齢と共に変化する視覚を体験する視覚体験ゾーン

で構成され、他に車いすの試乗体験、装具による高齢者体験も行うことができます。

リニューアルしたJISパビリオンを、是非見学してください。



●くらしとJISセンター

〒305-8564

茨城県つくば市並木1-2-1 つくば東


利用時間 9:30~16:30

(土・日・祝日・年末年始は休館)

URL <http://unit.aist.go.jp/pubrel/indusstan/ljis/>

見学のお問い合わせ、申込み先

工業標準部 (0298-61-4321)



平成14年春の叙勲

勲三等瑞宝章	内山 英樹 (元計量教習所長)
	飯田 昌造 (元工業技術院名古屋工業技術試験所放射線部長)
	小川 信二 (元工業技術院電子技術総合研究所基礎部長)
	堀米 孝 (元工業技術院電子技術総合研究所エネルギー部長)
勲四等旭日小綬章	川瀬 晃 (元工業技術院化学技術研究所化学標準部長)
勲四等瑞宝章	堀内 道一 (元工業技術院総務部会計課長)
	高橋 光夫 (元工業技術院計量研究所総務部長)
	五十嵐 俊雄 (元工業技術院地質調査所北海道支所長)
	星野 一男 (元工業技術院地質調査所燃料部長)
	宮崎 秀甫 (元工業技術院四国工業技術試験所化学部長)
勲五等双光旭日章	荻野 幸雄 (元工業技術院製品科学研究所総務部長)
	加藤 正勝 (元工業技術院総務部筑波管理事務所次長)



文部科学大臣賞

第28回研究功績者表彰	大嶋 新一 (成果普及部門計量標準管理部長)
	● 「光ポンピング方式セシウム時計・周波数標準器の研究」
	岡 邦彦 (エレクトロニクス研究部門低温物理グループ主任研究員)
	● 「酸化物超伝導体単結晶育成技術の研究」
	加藤 孝久 (機械システム研究部門総括研究員)
	● 「ナノ領域における摩擦特性評価法に関する研究」
第43回創意工夫功労者表彰	松江 千佐世 (成果普及部門地質標本館主査)
	● 「地質標本館標本資料報告のCD-ROM化の改良」



第34回市村賞

市村学術賞 貢献賞	中村 安宏 (計測標準研究部門電磁気計測科電気標準第1研究室主任研究員)
	● 「新たな静電容量電気標準確立のための周波数可変直角相ブリッジの開発」
	持丸 正明 (デジタルヒューマン研究ラボ副研究ラボ長)
	● 「3次元形態変換関数による人体適合製品設計技術の研究」



2002年(第12回)日経BP技術賞

医療・バイオ部門	多比良 和誠 (ジーンディスカバリー研究センター副研究センター長)
	● 「高効率リボザイムの開発」